

ICT 活用の特性・強みを生かした学びの充実

1 特集について

GIGAスクール構想により、学習者用一人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが一体的に整備され、多くの授業で学習者用一人1台端末を使用して発表したり、検索機能を用いて課題を設定したりしています。

これからは学習者用一人1台端末の活用を日常化し、全ての子供たちの資質・能力を確実に育成することが重要です。

そのためには、教師がICT活用の特性・強みを意識し、子供自身が自由な発想でICTを活用できるように環境を整え、授業をデザインし、教師主導の授業から子供主体の学びに転換していくことが必要です。

本特集では、改めてICT活用の特性・強みを確認し、その特性・強みを生かした学びの充実について紹介します。本特集を参考に、ICTを活用した授業改善を進めてください。

2 紙面の活用について

一人1台端末に関する教育の背景や現状について、確認することができます。

ICT活用の3つの特性・強みと可能となる学習活動について理解することができます。

関連した過去の所報を二次元コードから読み取り（クリック可）、参考にすることができます。

ICT活用の3つの特性・強みを生かした実践事例を知ることができます。

御意見
ください

所報「たまじむ」において、多摩地区の学校及び市町村教育委員会のニーズに応える特集を予定しております。つきましては、特集内容に関する御意見をいただきたく、御協力をお願いいたします。



特集アンケート

もっと
詳しく
知りたい

<二次元コード（読み取り or クリック）から、
本特集及び過去の所報の解説動画が視聴可能>



解説動画



本特集及び過去の
所報解説動画

I C T活用の特性・強みを生かした学びの充実



過去の所報
「たまじむ」

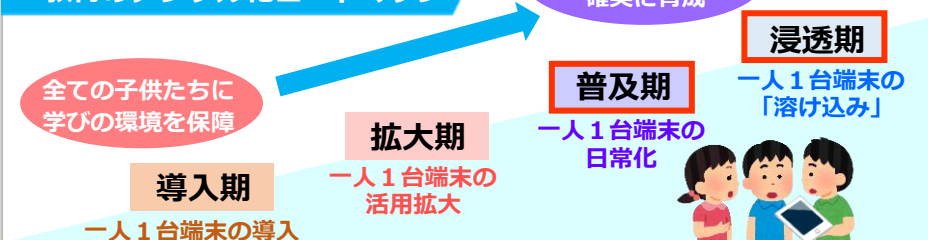
G I G Aスクール構想により、学習者用一人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが一体的に整備され、現在は、多くの学校が一人1台端末を活用拡大する「拡大期」から、**日常化していく「普及期」そして「浸透期」に移行する段階**です。本特集では、改めてI C T活用の特性・強みを確認し、その特性・強みを生かした学びの充実について紹介します。

教師主導の授業から**子供主体の学び**へ



普及期・浸透期では、**教師がI C T活用の特性・強みを意識し、子供自身が自由な発想でI C Tを活用**できるように**環境を整え、授業をデザイン**することが求められています。

一人1台端末時代における
教育のデジタル化ロードマップ



参考 I C T活用に関わる 過去の所報「たまじむ」

令和2年11月2日発行
第2号[通算第78号]【特集①】
**各教科等の資質・能力を育む
I C Tを活用した授業づくり**



令和4年2月16日発行
通算第85号
**個別最適な学びと協働的な
学びの一体的な充実**



令和3年2月26日発行
第3号[通算第79号]【特集①】
**一人1台端末を活用した
「学び」のステップ**

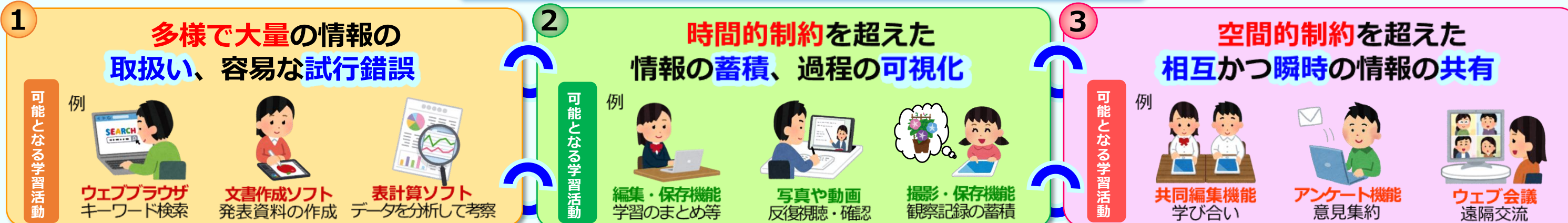


令和5年11月21日発行
通算第98号
**学習者用デジタル教科書
を活用した学びの充実**



I C T活用の3つの特性・強み

※丸番号は順序性を表すものではありません。



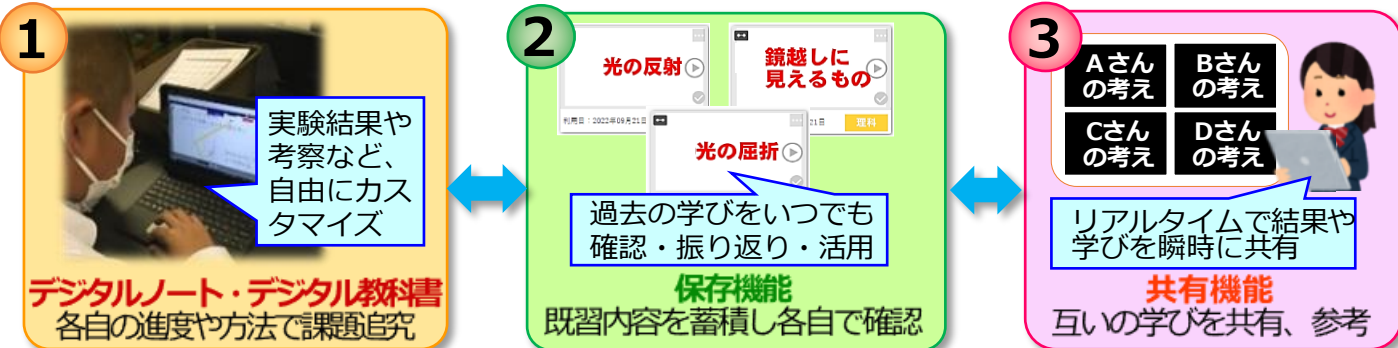
全ての生徒たちの可能性を引き出し、伸ばしていく学びの充実

例 中学校 第1学年 理科「身近な物理現象－光の反射や屈折－」

東京都多摩地区教育推進委員会 第28次計画（通算第49年次）報告書より

多様な方法で

一定の目標 光の反射、屈折、凸レンズの働きについての基本的な概念や原理・法則などの習得



個々に合った学びを進める

今までにない方法で

異なる目標 興味のある光に関する異なる事象を選び、既習事項を活用して各自で探究



様々な人たちと協働しながら学ぶ